

モニタリングチェックシート（令和4年度）

<評価>

施設名	石神井障害者地域生活支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会
評価者	障害者施策推進課長

優：特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良：管理運営が良好と認められるもの
 要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 練馬区情報セキュリティポリシー、個人情報保護条例および情報公開条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区と同等の個人情報管理規程および情報公開規程を独自に設けている。また、文書を誤廃棄する情報セキュリティ事故が発生したことを踏まえ、即時に事務処理手順を見直し、全職員で共有する等、再発防止に取り組んだ。 労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。 節電や用紙使用量の削減に取り組むなど、環境負荷の低減に努めている。 会計規程に従い、適正な会計処理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 石神井障害者地域生活支援センター運営委員会の評価は良好か 新型コロナウイルス感染症へ適切に対応しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等による意見・要望に細やかに対応し、サービス水準の維持向上に取り組んでいる。 法人の人材育成方針に基づき、職制研修や専門知識の習得に必要な研修を計画的に受講している。 虐待や人権に関する外部研修を積極的に受講するほか、法人の障害者虐待防止委員会の委員として、虐待防止の取組を検討している。 コロナの影響により、オープンスペースの利用者数は、2,152人(元年度4,824人)となった。 利用者アンケートによる満足度は、84.4%で評価は良好である。 共生社会の実現に向けて地域貢献に取り組んでおり、運営委員会の評価は良好である。 検温や消毒、換気などを徹底するほか、区の方針に基づきプログラム等の人数制限を行うなど感染防止対策に取り組んでいる。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理を適切に行い、記録を整備している。 災害時マニュアルの整備や防災訓練を実施しているほか、利用者を対象とした防災に関するプログラムも年1回実施している。 施設賠償責任保険に加入しており、損害保険の加入状況は適切である。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用実態に応じて柔軟に職員を配置するなど、効率的な人員配置がなされている。 再委託の範囲は適切である。 コロナにより事業計画に変更が生じたが、プログラムの内容変更や人数制限により、事業を実施した。 収支計画の目標は、概ね達成された。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 区が求めた取組を適切に実施しているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか その他、選定の際に設定した取組の評価 	良	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターとして、区が求める相談支援の質の向上や困難事例の対応に取り組んでいる。 今年度から、就労や社会貢献に踏み出す意欲を高めるためのプログラムを法人他部署と連携しながら実施している。 障害者相談員懇談会や図書館、地域団体が主催する障害理解講座において講師を務めるなど、障害理解の啓発や地域の人材育成に取り組んでいる。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 区内雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 専門人材の確保が難しい中、区内雇用率は33.3%であり、区内雇用を努めている。 再委託や物品調達については、可能な限り区内事業者の活用に努めている。 男女共同参画センターえーとのとの協働による事業の実施や、商店会主催のお祭りへの参加など、地域交流や施設の周知を図っている。
総合評価 (講評)	良	<ul style="list-style-type: none"> 項目全般について、区が求める基準を満たしている。就労に関する事業を新たに開始するなど、利用者サービスの向上に取り組んでおり、利用者アンケートの評価は良好である。 コロナ感染拡大防止について、区の指示に基づき、年間を通して適切に対応した。